

駐龍精密機械股份有限公司及子公司
合併財務報告暨會計師核閱報告
民國 108 年及 107 年第三季
(股票代碼 4572)

公司地址：高雄市仁武區五和里八德二路 166 號
電 話：07-3101000

駐龍精密機械股份有限公司及子公司
民國 108 年及 107 年第三季合併財務報告暨會計師核閱報告
目 錄

<u>項</u>	<u>目</u>	<u>頁 次</u>
一、	封面	1
二、	目錄	2 ~ 3
三、	會計師核閱報告	4 ~ 5
四、	合併資產負債表	6 ~ 7
五、	合併綜合損益表	8
六、	合併權益變動表	9
七、	合併現金流量表	10 ~ 11
八、	合併財務報表附註	12 ~ 41
	(一) 公司沿革	12
	(二) 通過財務報告之日期及程序	12
	(三) 新發布及修訂準則及解釋之適用	12 ~ 14
	(四) 重大會計政策之彙總說明	14 ~ 15
	(五) 重大會計判斷、估計及假設不確定性之主要來源	16
	(六) 重要會計項目之說明	16 ~ 34
	(七) 關係人交易	34 ~ 35
	(八) 質押之資產	35
	(九) 重大或有負債及未認列之合約承諾	35

項	目	頁	次
(十)	重大之災害損失	36	
(十一)	重大之期後事項	36	
(十二)	其他	36 ~ 39	
(十三)	附註揭露事項	40	
	1. 重大交易事項相關資訊	40	
	2. 轉投資事業相關資訊	40	
	3. 大陸投資資訊	40	
(十四)	部門資訊	40 ~ 41	

會計師核閱報告

(108)財審報字第 19001621 號

駐龍精密機械股份有限公司 公鑒：

前言

駐龍精密機械股份有限公司及子公司(以下簡稱「駐龍集團」)民國 108 年及 107 年 9 月 30 日之合併資產負債表，民國 108 年及 107 年 7 月 1 日至 9 月 30 日、民國 108 年及 107 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之合併綜合損益表，暨民國 108 年及 107 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之合併權益變動表、合併現金流量表，以及合併財務報表附註(包括重大會計政策彙總)，業經本會計師核閱竣事。依「證券發行人財務報告編製準則」及金融監督管理委員會認可之國際會計準則第三十四號「期中財務報導」編製允當表達之合併財務報表係管理階層之責任，本會計師之責任係依據核閱結果對合併財務報表作成結論。

範圍

本會計師係依照審計準則公報第六十五號「財務報表之核閱」執行核閱工作。核閱合併財務報表時所執行之程序包括查詢(主要向負責財務與會計事務之人員查詢)、分析性程序及其他核閱程序。核閱工作之範圍明顯小於查核工作之範圍，因此本會計師可能無法察覺所有可藉由查核工作辨認之重大事項，故無法表示查核意見。

結論

依本會計師核閱結果，並未發現上開合併財務報表在所有重大方面有未依照「證券發行人財務報告編製準則」及金融監督管理委員會認可之國際會計準則第三十四號「期中財務報導」編製，致無法允當表達駐龍集團民國 108 年及 107 年 9 月 30 日之合併財務狀況，民國 108 年及 107 年 7 月 1 日至 9 月 30 日、民國 108 年及 107 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之合併財務績效，暨民國 108 年及 107 年 1 月 1 日至 9 月 30 日之合併現金流量之情事。

資 誠 聯 合 會 計 師 事 務 所

王國華

會計師

吳建志

王國華
吳建志




前財政部證券暨期貨管理委員會

核准簽證文號：(87)台財證(六)第 68790 號

金融監督管理委員會

核准簽證文號：金管證審字第 1030027246 號

中 華 民 國 1 0 8 年 1 1 月 1 2 日


 駐龍精密機械股份有限公司及子公司
 合併資產負債表
 民國108年9月30日及民國107年12月31日、9月30日
 (民國108年及107年9月30日之合併資產負債表業經核閱，未依一般公認審計準則查核)
 單位：新台幣仟元

資	產	附註	108年9月30日		107年12月31日		107年9月30日	
			金	%	金	%	金	%
流動資產								
1100	現金及約當現金	六(一)	\$ 714,983	31	\$ 385,274	24	\$ 423,267	28
1136	按攤銷後成本衡量之金融資產—	六(二)						
	流動		312,345	14	187,075	11	67,524	4
1140	合約資產—流動	六(十五)	22,236	1	33,069	2	26,537	2
1150	應收票據淨額	六						
		(三)(十)	35,707	2	8	-	6	-
1170	應收帳款淨額	六(三)	278,481	12	243,675	15	233,495	16
1200	其他應收款	六(十)	5,804	-	10,265	1	22,721	1
130X	存貨	五及六						
		(四)	296,929	13	252,658	16	214,502	14
1410	預付款項		6,023	-	7,424	-	9,494	1
11XX	流動資產合計		<u>1,672,508</u>	<u>73</u>	<u>1,119,448</u>	<u>69</u>	<u>997,546</u>	<u>66</u>
非流動資產								
1535	按攤銷後成本衡量之金融資產—	六(二)及						
	非流動	八	21,232	1	21,072	1	20,977	2
1600	不動產、廠房及設備	六						
		(五)(十)						
		及八	447,548	20	441,188	27	401,163	27
1755	使用權資產	六(六)	132,796	6	-	-	-	-
1780	無形資產	六						
		(七)(十)	10,665	-	13,811	1	13,286	1
1840	遞延所得稅資產		2,885	-	3,049	-	2,008	-
1915	預付設備款		143	-	6,612	1	49,934	3
1920	存出保證金		3,479	-	3,889	-	3,864	-
1985	長期預付租金	六(二十						
		三)	-	-	14,523	1	14,967	1
1990	其他非流動資產—其他		112	-	181	-	245	-
15XX	非流動資產合計		<u>618,860</u>	<u>27</u>	<u>504,325</u>	<u>31</u>	<u>506,444</u>	<u>34</u>
1XXX	資產總計		<u>\$ 2,291,368</u>	<u>100</u>	<u>\$ 1,623,773</u>	<u>100</u>	<u>\$ 1,503,990</u>	<u>100</u>

(續次頁)

駐龍精密機械股份有限公司及子公司

合併資產負債表

民國108年9月30日及民國107年12月31日、9月30日

(民國108年及107年9月30日之合併資產負債表僅經核閱，未依一般公認審計準則查核)

單位：新台幣仟元

負債及權益	附註	108年9月30日			107年12月31日			107年9月30日		
		金	額	%	金	額	%	金	額	%
流動負債										
2170	應付帳款	\$	9,460	1	\$	22,587	1	\$	11,464	1
2200	其他應付款		98,822	4		118,515	7		94,114	6
2230	本期所得稅負債		20,097	1		58,891	4		39,591	3
2250	負債準備—流動		41	-		20	-		4	-
2280	租賃負債—流動		6,816	-		-	-		-	-
2320	一年或一營業週期內到期長期負債		-	-		13,122	1		13,495	1
2399	其他流動負債—其他		1,244	-		1,211	-		1,408	-
21XX	流動負債合計		<u>136,480</u>	<u>6</u>		<u>214,346</u>	<u>13</u>		<u>160,076</u>	<u>11</u>
非流動負債										
2540	長期借款		-	-		100,609	6		103,647	7
2570	遞延所得稅負債		-	-		630	-		464	-
2580	租賃負債—非流動		112,501	5		-	-		-	-
2630	長期遞延收入		84,755	4		62,060	4		62,403	4
2640	淨確定福利負債—非流動		1,465	-		1,287	-		1,218	-
2645	存入保證金		600	-		600	-		600	-
25XX	非流動負債合計		<u>199,321</u>	<u>9</u>		<u>165,186</u>	<u>10</u>		<u>168,332</u>	<u>11</u>
2XXX	負債總計		<u>335,801</u>	<u>15</u>		<u>379,532</u>	<u>23</u>		<u>328,408</u>	<u>22</u>
歸屬於母公司業主之權益										
股本										
3110	普通股股本		358,000	16		300,000	18		300,000	20
資本公積										
3200	資本公積		586,812	26		8,000	1		8,000	1
保留盈餘										
3310	法定盈餘公積		105,059	4		81,039	5		81,039	5
3350	未分配盈餘		905,696	39		855,202	53		786,543	52
3XXX	權益總計		<u>1,955,567</u>	<u>85</u>		<u>1,244,241</u>	<u>77</u>		<u>1,175,582</u>	<u>78</u>
重大或有負債及未認列之合約承諾 九										
3X2X	負債及權益總計	\$	<u>2,291,368</u>	<u>100</u>	\$	<u>1,623,773</u>	<u>100</u>	\$	<u>1,503,990</u>	<u>100</u>

後附合併財務報表附註為本合併財務報告之一部分，請併同參閱。

董事長：王昆生



經理人：王昆生



會計主管：李汶育




 駐龍精密機械股份有限公司及子公司
 合併綜合損益表
 民國108年及107年1月至9月30日
 (僅經核閱，未依一般公認審計準則查核)

單位：新台幣仟元
 (除每股盈餘為新台幣元外)

項目	附註	108年7月1日 至9月30日		107年7月1日 至9月30日		108年1月1日 至9月30日		107年1月1日 至9月30日	
		金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
4000 營業收入	六(十五)	\$ 212,370	100	\$ 243,778	100	\$ 637,271	100	\$ 602,331	100
5000 營業成本	六(四)(十) 九(二十)	(109,639)	(52)	(130,314)	(54)	(325,704)	(51)	(317,237)	(53)
5900 營業毛利		102,731	48	113,464	46	311,567	49	285,094	47
營業費用	六(十) 九(二十)								
6100 推銷費用		(4,080)	(2)	(5,910)	(2)	(15,680)	(3)	(13,869)	(2)
6200 管理費用		(13,317)	(6)	(13,679)	(6)	(37,269)	(6)	(31,280)	(5)
6300 研究發展費用	六(十)	(9,035)	(4)	(7,877)	(3)	(27,510)	(4)	(22,922)	(4)
6450 預期信用減損損失	十二(二)	(705)	(1)	(2,695)	(1)	(442)	-	(2,520)	(1)
6000 營業費用合計		(27,137)	(13)	(30,161)	(12)	(80,901)	(13)	(70,591)	(12)
6900 營業利益		75,594	35	83,303	34	230,666	36	214,503	35
營業外收入及支出									
7010 其他收入	六(十六)	2,359	1	1,592	-	8,038	1	4,991	1
7020 其他利益及損失	六(十七)	(1,733)	(1)	(613)	-	3,039	1	11,987	2
7050 財務成本	六(十八)	(512)	-	(386)	-	(1,831)	-	(1,099)	-
7000 營業外收入及支出合計		114	-	593	-	9,246	2	15,879	3
7900 稅前淨利		75,708	35	83,896	34	239,912	38	230,382	38
7950 所得稅費用	六(二十一)	(15,394)	(7)	(17,910)	(7)	(53,398)	(9)	(58,850)	(10)
8200 本期淨利		\$ 60,314	28	\$ 65,986	27	\$ 186,514	29	\$ 171,532	28
8500 本期綜合損益總額		\$ 60,314	28	\$ 65,986	27	\$ 186,514	29	\$ 171,532	28
淨利歸屬於：									
8610 母公司業主		\$ 60,314	28	\$ 65,986	27	\$ 186,514	29	\$ 171,532	28
綜合損益總額歸屬於：									
8710 母公司業主		\$ 60,314	28	\$ 65,986	27	\$ 186,514	29	\$ 171,532	28
每股盈餘	六(二十二)								
9750 基本		\$ 1.85		\$ 2.09		\$ 5.85		\$ 5.45	
9850 稀釋		\$ 1.85		\$ 2.09		\$ 5.82		\$ 5.42	

後附合併財務報表附註為本合併財務報告之一部分，請併同參閱。

董事長：王昆生



經理人：王昆生



會計主管：李汶育



駐龍精密機械股份有限公司及子公司

合併權益變動表
民國108年及107年1月1日至9月30日
(僅經核閱，未依一般公認審計準則查核)

單位：新台幣仟元

附註	歸屬於母公司的業主之權益							合計
	普通股	股本	待分配股票股利	資本公積	本公積	溢價	員工認股權	
<u>107年1月1日至9月30日</u>								
107年1月1日餘額	\$ 260,000	\$ 40,000	\$ 8,000	\$ -	\$ 66,039	\$ 645,011	\$ 1,019,050	
107年1月1日重編後餘額	260,000	40,000	8,000	-	66,039	645,011	1,019,050	
本期淨利	-	-	-	-	-	171,532	171,532	
本期綜合損益總額	-	-	-	-	-	171,532	171,532	
106年度盈餘指撥及分配：								
法定盈餘公積	-	-	-	-	15,000	(15,000)	-	
現金股利	六(十四)	-	-	-	-	(15,000)	(15,000)	
資本公積配發股票	六(十二)(十三)	40,000	(40,000)	-	-	-	-	
107年9月30日餘額	\$ 300,000	\$ -	\$ 8,000	\$ -	\$ 81,039	\$ 786,543	\$ 1,175,582	
<u>108年1月1日至9月30日</u>								
108年1月1日餘額	\$ 300,000	\$ -	\$ 8,000	\$ -	\$ 81,039	\$ 855,202	\$ 1,244,241	
本期淨利	-	-	-	-	-	186,514	186,514	
本期綜合損益總額	-	-	-	-	-	186,514	186,514	
107年度盈餘指撥及分配：								
法定盈餘公積	-	-	-	-	24,020	(24,020)	-	
股票股利	六(十二)(十四)	15,000	-	-	-	(15,000)	-	
現金股利	六(十四)	-	-	-	-	(97,000)	(97,000)	
股份基礎給付酬勞	六(十一)	-	-	-	1,443	-	1,443	
資本公積配發現金	六(十三)	-	(8,000)	-	-	-	(8,000)	
現金增資	六(十二)	43,000	-	586,812	(1,443)	-	628,369	
108年9月30日餘額	\$ 358,000	\$ -	\$ 586,812	\$ -	\$ 105,059	\$ 905,696	\$ 1,955,567	

後附合併財務報表附註為本合併財務報告之一部分，請併同參閱。

董事長：王昆生



經理人：王昆生



會計主管：李汶育



駐龍精密機械股份有限公司及子公司

合併現金流量表
民國108年及107年1月1日至9月30日
(僅經核閱，未依一般公認審計準則查核)

單位：新台幣仟元

附註	108年1月1日 至9月30日	107年1月1日 至9月30日
營業活動之現金流量		
本期稅前淨利	\$ 239,912	\$ 230,382
調整項目		
收益費損項目		
折舊費用	六 (五)(六)(十)(十 九)	39,364
攤銷費用	六(七)(十)(十 九)	3,532
預期信用減損損失	十二(二)	2,520
長期遞延收入攤提	六(十)	(27,062)
長期預付租金攤銷	六(二十三)	1,236
長期預付費用攤銷	178	76
股份基礎給付酬勞成本	六(十一)	-
利息費用	六(十八)	1,099
利息收入	六(十六)	(4,509)
與營業活動相關之資產/負債變動數		
與營業活動相關之資產之淨變動		
合約資產—流動	10,833	(10,906)
應收票據	(3,904)	639
應收帳款	(35,212)	(116,124)
其他應收款	4,461	(2,937)
存貨	(44,271)	(2,916)
預付款項	(102)	5,614
與營業活動相關之負債之淨變動		
合約負債—流動	-	(1,500)
應付帳款	(13,127)	(150)
其他應付款	(18,791)	14,773
負債準備—流動	21	(55)
其他流動負債—其他	33	659
長期遞延收入	11,639	11,735
淨確定福利負債—非流動	178	165
營運產生之現金流入	176,141	145,635
收取之利息	7,195	4,509
支付之利息	(1,831)	(1,099)
支付之所得稅	(92,658)	(51,022)
營業活動之淨現金流入	88,847	98,023

(續次頁)

駐龍精密機械股份有限公司及子公司

合併現金流量表
民國 108 年及 107 年 1 月 1 日至 9 月 30 日
(僅經核閱，未依一般公認會計準則查核)

單位：新台幣仟元

	附註	108 年 1 月 1 日 至 9 月 30 日	107 年 1 月 1 日 至 9 月 30 日
投資活動之現金流量			
按攤銷後成本衡量之金融資產(增加)減少		(\$ 125,430)	\$ 180,770
取得不動產、廠房及設備	六(二十四)	(41,541)	(16,401)
取得無形資產	六(七)	(363)	(900)
預付設備款增加		-	(49,034)
長期遞延收入—購置設備及無形資產現金收入	六(二十四)		
數		-	22,673
存出保證金增加		(156)	(747)
存出保證金減少		566	137
長期預付租金增加		-	(15,141)
其他非流動資產—其他增加		(109)	(167)
投資活動之淨現金(流出)流入		(167,033)	121,190
籌資活動之現金流量			
租賃本金償還	六(二十五)	(1,743)	-
償還長期借款	六(二十五)	(113,731)	(10,609)
支付現金股利	六(十三)(十四)	(105,000)	(15,000)
現金增資	六(十二)	628,369	-
籌資活動之淨現金流入(流出)		407,895	(25,609)
本期現金及約當現金增加數		329,709	193,604
期初現金及約當現金餘額	六(一)	385,274	229,663
期末現金及約當現金餘額	六(一)	\$ 714,983	\$ 423,267

後附合併財務報表附註為本合併財務報告之一部分，請併同參閱。

董事長：王昆生



經理人：王昆生



會計主管：李汶育



駐龍精密機械股份有限公司及子公司
合併財務報表附註
民國 108 年及 107 年第三季
(僅經核閱，未依一般公認審計準則查核)

單位：新台幣仟元
(除特別註明者外)

一、公司沿革

(一)駐龍精密機械股份有限公司(以下簡稱「本公司」)於民國 79 年 8 月奉准設立，本公司及子公司(以下簡稱「本集團」)主要營業項目為航太零組件及特殊模治具等製造加工買賣。

(二)本公司股票於民國 108 年 9 月 10 日起在臺灣證券交易所上市買賣。

二、通過財務報告之日期及程序

本合併財務報告已於民國 108 年 11 月 12 日經董事會通過發布。

三、新發布及修訂準則及解釋之適用

(一)已採用金融監督管理委員會(以下簡稱「金管會」)認可之新發布、修正後國際財務報導準則之影響

下表彙列金管會認可之民國 108 年適用之國際財務報導準則之新發布、修正及修訂之準則及解釋：

<u>新發布/修正/修訂準則及解釋</u>	<u>國際會計準則理事會 發布之生效日</u>
國際財務報導準則第9號之修正「具負補償之提前還款特性」	民國108年1月1日
國際財務報導準則第16號「租賃」	民國108年1月1日
國際會計準則第19號之修正「計畫之修正、縮減或清償」	民國108年1月1日
國際會計準則第28號之修正「關聯企業與合資之長期權益」	民國108年1月1日
國際財務報導解釋第23號「不確定性之所得稅處理」	民國108年1月1日
2015-2017週期之年度改善	民國108年1月1日

除下列所述者外，本集團經評估上述準則及解釋對本集團財務狀況與財務績效並無重大影響：

國際財務報導準則第 16 號「租賃」

1. 國際財務報導準則第 16 號「租賃」取代國際會計準則第 17 號「租賃」及其相關解釋及解釋公告。此準則規定承租人應認列使用權資產及租賃負債(除租賃期間短於 12 個月或低價值標的資產之租賃外);出租人會計處理仍相同，按營業租賃及融資租賃兩種類型處理，僅增加相關揭露。

2. 於適用金管會認可之民國 108 年 IFRSs 版本時，本集團對於國際財務報導準則第 16 號係採用不重編比較資訊(以下簡稱「修正式追溯調整」)，將屬承租人之租賃合約，於民國 108 年 1 月 1 日調增使用權資產及租賃負債 \$135,146 及 \$119,120，並分別調減預付款項及長期預付租金 \$1,503 及 \$14,523。
3. 本集團於初次適用國際財務報導準則第 16 號，採用之實務權宜作法如下：
 - (1) 未重評估合約是否係屬(或包含)租賃，係按先前適用國際會計準則第 17 號及國際財務報導解釋第 4 號時已辨認為租賃之合約，適用國際財務報導準則第 16 號之規定處理。
 - (2) 將對具有合理類似特性之租賃組合使用單一折現率。
 - (3) 未將原始直接成本計入使用權資產之衡量。
4. 本集團於計算租賃負債之現值時，係採用本集團增額借款利率，其加權平均利率為 1.32%。
5. 本集團按國際會計準則第 17 號揭露營業租賃承諾之金額，採用初次適用日之增額借款利率折現之現值與民國 108 年 1 月 1 日認列之租賃負債的調節如下：

民國107年12月31日採國際會計準則第17號揭露之營業租賃承諾	\$	50,634
加：調整對續租權之合理確定評估		<u>97,354</u>
民國108年1月1日採國際財務報導準則第16號應認列租賃負債之租賃合約總額		147,988
本集團初次適用日之增額借款利率		<u>1.32%</u>
民國108年1月1日採國際財務報導準則第16號認列之租賃負債	\$	<u><u>119,120</u></u>

(二) 尚未採用金管會認可之新發布、修正後國際財務報導準則之影響

下表彙列金管會認可之民國 109 年適用之國際財務報導準則之新發布、修正及修訂之準則及解釋：

<u>新發布/修正/修訂準則及解釋</u>	<u>國際會計準則理事會 發布之生效日</u>
國際會計準則第1號及國際會計準則第8號之修正「揭露倡議-重大性之定義」	民國109年1月1日
國際財務報導準則第3號之修正「業務之定義」	民國109年1月1日

本集團經評估上述準則及解釋對本集團財務狀況與財務績效並無重大影響。

(三) 國際會計準則理事會已發布但尚未經金管會認可之國際財務報導準則之影響

下表彙列國際會計準則理事會已發布但尚未納入金管會認可之國際財務報導準則之新發布、修正及修訂之準則及解釋：

新發布/修正/修訂準則及解釋	國際會計準則理事會 發布之生效日
國際財務報導準則第9號、國際會計準則第39號及國際財務報導準則第7號之修正「利率指標變革」	民國109年1月1日
國際財務報導準則第10號及國際會計準則第28號之修正「投資者與其關聯企業或合資間之資產出售或投入」	待國際會計準則理事會決定
國際財務報導準則第17號「保險合約」	民國110年1月1日

本集團經評估上述準則及解釋對本集團財務狀況與財務績效並無重大影響。

四、重大會計政策之彙總說明

重大會計政策除遵循聲明、編製基礎、合併基礎及新增部分說明如下，餘與民國107年度合併財務報表附註四相同。除另有說明外，此等政策在所有報導期間一致地適用。

(一)遵循聲明

1. 本合併財務報告係依據證券發行人財務報告編製準則與金管會認可之國際會計準則第34號「期中財務報導」編製。
2. 本合併財務報告應併同民國107年度合併財務報告閱讀。

(二)編製基礎

1. 本合併財務報告係按歷史成本編製。
2. 編製符合金管會認可之國際財務報導準則、國際會計準則、解釋及解釋公告(以下簡稱IFRSs)之財務報告需要使用一些重要會計估計，在應用本集團的會計政策過程中亦需要管理階層運用其判斷，涉及高度判斷或複雜性之項目，或涉及合併財務報告之重大假設及估計之項目，請參閱附註五說明。

(三)合併基礎

1. 合併財務報告編製原則

本合併財務報告之編製原則與107年度合併財務報告相同。

2. 列入合併財務報告之子公司：

投資公司 名稱	子公司 名稱	業務性質	所持股權百分比		
			108年9月30日	107年12月31日	107年9月30日
駐龍精密機械股份有限公司	駐龍科技股份有限公司	航空器及其零件 表面處理等製造 加工買賣	100	100	100

3. 未列入合併財務報告之子公司：無此情事。
4. 子公司會計期間不同之調整及處理方式：無此情事。
5. 重大限制：無此情事。
6. 對本集團具重大性之非控制權益之子公司：無此情事。

(四) 承租人之租賃交易－使用權資產/租賃負債

民國 108 年度適用

1. 租賃資產於可供本集團使用之日認列為使用權資產及租賃負債。當租賃合約係屬短期租賃或低價值標的資產之租賃時，將租賃給付採直線法於租賃期間認列為費用。
2. 租賃負債於租賃開始日將尚未支付之租賃給付按本集團增額借款利率折現後之現值認列，租賃給付包括：
 - (1) 固定給付，減除可收取之任何租賃誘因。
 - (2) 取決於某項指數或費率之變動租賃給付。
後續採利息法按攤銷後成本衡量，於租賃期間提列利息費用。當非屬合約修改造成租賃期間或租賃給付變動時，將重評估租賃負債，並將再衡量數調整使用權資產。
3. 使用權資產於租賃開始日按成本認列，成本包括：
 - (1) 租賃負債之原始衡量金額。
 - (2) 於開始日或之前支付之任何租賃給付。
 - (3) 發生之任何原始直接成本。
後續採成本模式衡量，於使用權資產之耐用年限屆滿時或租賃期間屆滿時兩者之較早者，提列折舊費用。當租賃負債重評估時，使用權資產將調整租賃負債之任何再衡量數。

(五) 租賃資產/營業租賃(承租人)

民國 107 年度適用

營業租賃之給付扣除自出租人收取之任何誘因，於租賃期間內按直線法攤銷認列為當期損益。

(六) 員工股份基礎給付

以權益交割之股份基礎給付協議係於給與日以所給與權益商品之公允價值衡量所取得之員工勞務，於既得期間認列為酬勞成本，並相對調整權益。權益商品之公允價值應反映市價既得條件及非既得條件之影響。認列之酬勞成本係隨著預期將符合服務條件及非市價既得條件之獎勵數量予以調整，直至最終認列金額係以既得日既得數量認列。

(七) 所得稅

1. 期中期間之所得稅費用以估計之年度平均有效稅率應用至期中期間之稅前損益計算之，並配合會計政策揭露相關資訊。
2. 期中期間發生稅率變動時，本集團於變動發生當期一次認列變動影響數，對於所得稅與認列於損益之外的項目有關者，將變動影響數認列於其他綜合損益或權益項目，對於所得稅與認列於損益的項目有關者，則將變動影響數認列於損益。

五、重大會計判斷、估計及假設不確定性之主要來源

本集團編製本合併財務報告時，管理階層已運用其判斷以決定所採用之會計政策，並依據資產負債表日當時之情況對於未來事件之合理預期以作出會計估計及假設。所作出之重大會計估計與假設可能與實際結果存有差異，將考量歷史經驗及其他因子持續評估及調整。該等估計及假設具有導致資產及負債帳面金額於下個財務年度重大調整之風險。請詳下列對重大會計判斷、估計與假設不確定性之說明：

存貨之評價

由於存貨須以成本與淨變現價值孰低者計價，故本集團必須運用判斷及估計決定資產負債表日存貨之淨變現價值，該等估計係依目前市場狀況及類似產品之歷史銷售經驗評估，市場情況之改變可能重大影響該等估計結果。

民國 108 年 9 月 30 日，本集團存貨之帳面金額為 \$296,929。

六、重要會計項目之說明

(一)現金及約當現金

	<u>108年9月30日</u>	<u>107年12月31日</u>	<u>107年9月30日</u>
庫存現金	\$ 678	\$ 657	\$ 713
支票存款及活期存款	680,523	175,029	184,684
定期存款	33,782	209,588	237,870
	<u>\$ 714,983</u>	<u>\$ 385,274</u>	<u>\$ 423,267</u>

1. 本集團往來之金融機構信用品質良好，且本集團與多家金融機構往來以分散信用風險，預期發生違約之可能性甚低。
2. 本集團用途受限之定期存款，請參閱附註八之說明。

(二)按攤銷後成本衡量之金融資產

<u>項 目</u>	<u>108年9月30日</u>	<u>107年12月31日</u>	<u>107年9月30日</u>
流動項目：			
定期存款	<u>\$ 312,345</u>	<u>\$ 187,075</u>	<u>\$ 67,524</u>
非流動項目：			
定期存款	<u>\$ 21,232</u>	<u>\$ 21,072</u>	<u>\$ 20,977</u>

1. 上列係存款期間長於三個月之定期存款。
2. 定期存款之利息收入認列於銀行存款利息項下，請參閱附註六、(十六)。
3. 本集團按攤銷後成本衡量之金融資產提供質押之情形，請詳附註八之說明。
4. 相關按攤銷後成本衡量之金融資產信用風險資訊請詳附註十二、(二)。

(三) 應收票據及帳款

	108年9月30日	107年12月31日	107年9月30日
應收票據	\$ 35,743	\$ 8	\$ 6
減：備抵呆帳	(36)	-	-
	<u>\$ 35,707</u>	<u>\$ 8</u>	<u>\$ 6</u>
應收帳款	\$ 280,136	\$ 244,924	\$ 237,035
減：備抵呆帳	(1,655)	(1,249)	(3,540)
	<u>\$ 278,481</u>	<u>\$ 243,675</u>	<u>\$ 233,495</u>

1. 應收票據及應收帳款之帳齡分析如下：

	108年9月30日		107年12月31日		107年9月30日	
	應收票據	應收帳款	應收票據	應收帳款	應收票據	應收帳款
未逾期	\$ 35,743	\$240,274	\$ 8	\$175,570	\$ 6	\$188,485
30天內	-	23,659	-	44,947	-	23,900
31-90天	-	7,959	-	18,193	-	14,689
91-180天	-	6,176	-	6,079	-	4,126
181-365天	-	2,044	-	135	-	5,220
365天以上	-	24	-	-	-	615
	<u>\$ 35,743</u>	<u>\$280,136</u>	<u>\$ 8</u>	<u>\$244,924</u>	<u>\$ 6</u>	<u>\$237,035</u>

以上係以逾期天數為基準進行之帳齡分析。

2. 民國 108 年 9 月 30 日、107 年 12 月 31 日及 107 年 9 月 30 日，本集團與客戶合約之應收款(含應收票據)餘額分別為\$284,048、\$244,932 及 \$237,041。另於民國 107 年 1 月 1 日客戶合約之應收款餘額為\$121,556。
3. 在不考慮所持有之擔保品或其他信用增強之情況下，最能代表本集團應收票據於民國 108 年 9 月 30 日、107 年 12 月 31 日及 107 年 9 月 30 日信用風險最大之暴險金額分別為\$35,707、\$8 及\$6；最能代表本集團應收帳款於民國 108 年 9 月 30 日、107 年 12 月 31 日及 107 年 9 月 30 日信用風險最大之暴險金額分別為\$278,481、\$243,675 及\$233,495。
4. 相關信用風險資訊請詳附註十二、(二)。
5. 本集團並未持有任何的擔保品。

(四) 存貨

	108年9月30日		
	成本	備抵跌價損失	帳面金額
原物料	\$ 61,751	(\$ 4,395)	\$ 57,356
在製品	109,963	(849)	109,114
製成品	137,426	(7,609)	129,817
在途存貨	642	-	642
	<u>\$ 309,782</u>	<u>(\$ 12,853)</u>	<u>\$ 296,929</u>

107年12月31日			
	成本	備抵跌價損失	帳面金額
原物料	\$ 59,311	(\$ 3,942)	\$ 55,369
在製品	101,306	(4,159)	97,147
製成品	106,865	(7,146)	99,719
在途存貨	423	-	423
	<u>\$ 267,905</u>	<u>(\$ 15,247)</u>	<u>\$ 252,658</u>
107年9月30日			
	成本	備抵跌價損失	帳面金額
原物料	\$ 44,553	(\$ 3,941)	\$ 40,612
在製品	67,625	(2,223)	65,402
製成品	112,365	(3,877)	108,488
	<u>\$ 224,543</u>	<u>(\$ 10,041)</u>	<u>\$ 214,502</u>

本集團當期認列為費損之存貨成本：

	108年7月1日至9月30日	107年7月1日至9月30日
已出售存貨成本	\$ 110,884	\$ 126,497
(回升利益)跌價損失	(1,450)	1,750
其他	205	2,067
	<u>\$ 109,639</u>	<u>\$ 130,314</u>
	108年1月1日至9月30日	107年1月1日至9月30日
已出售存貨成本	\$ 327,791	\$ 313,190
(回升利益)跌價損失	(2,394)	1,987
其他	307	2,060
	<u>\$ 325,704</u>	<u>\$ 317,237</u>

本集團民國108年7月1日至9月30日及108年1月1日至9月30日因去化部分已提列跌價損失之存貨，致存貨淨變現價值回升而認列為銷貨成本減少。

(五)不動產、廠房及設備

1. 不動產、廠房及設備帳面價值資訊如下：

	<u>108年9月30日</u>	<u>107年12月31日</u>	<u>107年9月30日</u>
房屋及建築	\$ 209,592	\$ 216,431	\$ 219,117
機器設備	219,958	205,076	162,647
運輸設備	959	1,380	1,332
電腦通訊設備	7,470	8,607	8,494
模具設備	-	85	276
辦公設備	654	840	901
其他設備	7,709	8,459	7,617
未完工程及待驗設備	1,206	310	779
	<u>\$ 447,548</u>	<u>\$ 441,188</u>	<u>\$ 401,163</u>

2. 不動產、廠房及設備本期變動情形如下：

成 本	108年1月1日至9月30日				
	1月1日	增添	處分	移轉	9月30日
房屋及建築	\$ 272,066	\$ 2,230	\$ -	\$ -	\$ 274,296
機器設備	492,698	34,404	-	5,968	533,070
運輸設備	4,855	-	-	-	4,855
電腦通訊設備	23,149	1,343 (36)	310	24,766
模具設備	3,082	-	-	-	3,082
辦公設備	11,057	-	-	-	11,057
其他設備	46,469	1,456	-	-	47,925
未完工程及待驗設備	310	1,206	-	(310)	1,206
	<u>853,686</u>	<u>40,639</u>	<u>(36)</u>	<u>5,968</u>	<u>900,257</u>
累計折舊及減損					
房屋及建築	(\$ 55,635)	(\$ 9,069)	\$ -	\$ -	(\$ 64,704)
機器設備	(287,622)	(25,490)	-	-	(313,112)
運輸設備	(3,475)	(421)	-	-	(3,896)
電腦通訊設備	(14,542)	(2,790)	36	-	(17,296)
模具設備	(2,997)	(85)	-	-	(3,082)
辦公設備	(10,217)	(186)	-	-	(10,403)
其他設備	(38,010)	(2,206)	-	-	(40,216)
	<u>(412,498)</u>	<u>(40,247)</u>	<u>36</u>	<u>-</u>	<u>(452,709)</u>
	<u>\$ 441,188</u>	<u>\$ 392</u>	<u>\$ -</u>	<u>\$ 5,968</u>	<u>\$ 447,548</u>

107年1月1日至9月30日

成 本	1月1日	增添	處分	移轉	9月30日
房屋及建築	\$ 271,045	\$ 762	\$ -	\$ -	\$ 271,807
機器設備	406,537	12,650	-	23,179	442,366
運輸設備	4,674	-	-	-	4,674
電腦通訊設備	19,095	3,027	-	120	22,242
模具設備	3,082	-	-	-	3,082
辦公設備	11,057	-	-	-	11,057
其他設備	44,455	437	-	-	44,892
未完工程及待驗設備	9,695	779	-	(9,695)	779
	<u>769,640</u>	<u>17,655</u>	<u>-</u>	<u>13,604</u>	<u>800,899</u>
累計折舊及減損					
房屋及建築	(\$ 43,972)	(\$ 8,718)	\$ -	\$ -	(\$ 52,690)
機器設備	(255,044)	(24,675)	-	-	(279,719)
運輸設備	(2,947)	(395)	-	-	(3,342)
電腦通訊設備	(11,668)	(2,080)	-	-	(13,748)
模具設備	(2,035)	(771)	-	-	(2,806)
辦公設備	(9,913)	(243)	-	-	(10,156)
其他設備	(34,793)	(2,482)	-	-	(37,275)
	<u>(360,372)</u>	<u>(39,364)</u>	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>(399,736)</u>
	<u>\$ 409,268</u>	<u>(\$ 21,709)</u>	<u>\$ -</u>	<u>\$ 13,604</u>	<u>\$ 401,163</u>

3. 不動產、廠房及設備折舊明細如下：

	108年7月1日至9月30日	107年7月1日至9月30日
營業成本	\$ 12,232	\$ 12,447
營業費用	<u>1,424</u>	<u>733</u>
	13,656	13,180
專案合作收入減項	(3,731)	(3,563)
	<u>\$ 9,925</u>	<u>\$ 9,617</u>
	108年1月1日至9月30日	107年1月1日至9月30日
營業成本	\$ 36,114	\$ 35,938
營業費用	<u>4,133</u>	<u>3,426</u>
	40,247	39,364
專案合作收入減項	(10,340)	(10,692)
	<u>\$ 29,907</u>	<u>\$ 28,672</u>

4. 本集團民國 108 年及 107 年 1 月 1 日至 9 月 30 日不動產、廠房及設備無借款成本資本化之情形。
5. 本集團房屋及建築之重大組成部分包括建物主體及其附屬工程，建物主體按 36 年及 51 年提列折舊；附屬工程分別按 11 年及 16 年提列折舊。
6. 本集團不動產、廠房及設備無供租賃使用。
7. 以不動產、廠房及設備提供擔保之資訊，請詳附註八之說明。
8. 專案合作收入屬於設備之購置款項，依該設備之估計耐用年限平均認列減少折舊費用，請參閱附註六、(十)長期遞延收入之說明。

(六)租賃交易－承租人

民國 108 年度適用

1. 本集團租賃之標的資產包括土地及公務車。本集團向台灣糖業股份有限公司租賃土地之相關權利金及租金支付情形彙總如下：

租賃標地物	期間	租金及權利金
仁武鄉善德段土地	88.11~138.11，共50年	註1、註2
仁武鄉善德段土地	91.11~121.11，共30年	註1、註2
仁武鄉善德段土地	88.12~138.12，共50年	註1、註2
仁武鄉竹園段土地	97.03~107.03，共10年	註3
仁武鄉竹園段土地	97.06~107.06，共10年	註1
仁武鄉竹園段土地	107.03~117.03，共10年	註4、註5
仁武鄉竹園段土地	107.06~117.06，共10年	註4、註6

註 1：租金按當年期申報地價年息 10%計算。

註 2：該租賃契約之權利金係每 20 年支付一次，第一次之權利金按第一年租金之四倍繳付，其他各次按當時相關辦法支付。

註 3：該租賃契約之權利金係一次支付\$5,912完畢。

註 4：固定租金每 5 年依前 5 年政府公布之消費者物價房租類指數年增率調整之(負數不予調整)。另，按當期申報地價總額 1%計收浮動租金，若土地改按一般土地稅率課徵地價稅時，則按當期申報地價總額 5.5%計收浮動租金。

註 5：該租賃契約之權利金係一次支付\$7,414完畢。

註 6：該租賃契約之權利金係一次支付\$7,727完畢。

2. 使用權資產之帳面價值與認列之折舊費用資訊如下：

	108年9月30日	
	帳面金額	
土地	\$	130,181
運輸設備(公務車)		2,615
	\$	132,796
	108年7月1日至9月30日	108年1月1日至9月30日
	折舊費用	折舊費用
土地	\$ 988	\$ 2,961
運輸設備(公務車)	421	1,329
	\$ 1,409	\$ 4,290

3. 本集團於民國 108 年 7 月 1 日至 9 月 30 日及 108 年 1 月 1 日至 9 月 30 日使用權資產之迴轉及增添分別為(\$104)及\$1,940。

4. 本集團租賃負債如下：

	<u>108年9月30日</u>
流動	\$ 6,816
非流動	<u>112,501</u>
	<u>\$ 119,317</u>

5. 與租賃合約有關之損益項目資訊如下：

	<u>108年7月1日至9月30日</u>	<u>108年1月1日至9月30日</u>
<u>影響當期損益之項目</u>		
租賃負債之利息費用	\$ <u>393</u>	\$ <u>1,174</u>

6. 本集團於民國 108 年 1 月 1 日至 9 月 30 日租賃現金流出總額為 \$2,917。

7. 變動租賃給付對租賃負債之影響

本集團於決定租賃給付之指數或費率變動導致未來租賃給付有變動致現金流量有變動時，始再衡量租賃負債以反映該等修正後租賃給付。

8. 租賃延長之選擇權

(1) 本集團於決定租賃期間時，係將所有行使延長選擇權會產生經濟誘因的事實和情況納入考量。當發生對行使延長選擇權之評估的重大事件發生時，則租賃期間將重新估計。

(2) 基於行使延長選擇權之評估，使民國 108 年 9 月 30 日之使用權資產及租賃負債增加 \$87,708。

(七) 無形資產

		<u>108年1月1日至9月30日</u>				
<u>成</u>	<u>本</u>	<u>1月1日</u>	<u>增添</u>	<u>處分</u>	<u>移轉</u>	<u>9月30日</u>
電腦軟體		\$ 20,923	\$ 363	\$ -	\$ 501	\$ 21,787
<u>累計攤銷</u>						
電腦軟體		(7,112)	(4,010)	-	-	(11,122)
		<u>\$ 13,811</u>	<u>(\$ 3,647)</u>	<u>\$ -</u>	<u>\$ 501</u>	<u>\$ 10,665</u>
		<u>107年1月1日至9月30日</u>				
<u>成</u>	<u>本</u>	<u>1月1日</u>	<u>增添</u>	<u>處分</u>	<u>移轉</u>	<u>9月30日</u>
電腦軟體		\$ 16,992	\$ 900	\$ -	\$ 1,231	\$ 19,123
<u>累計攤銷</u>						
電腦軟體		(2,305)	(3,532)	-	-	(5,837)
		<u>\$ 14,687</u>	<u>(\$ 2,632)</u>	<u>\$ -</u>	<u>\$ 1,231</u>	<u>\$ 13,286</u>

1. 無形資產攤銷明細如下：

	<u>108年7月1日至9月30日</u>	<u>107年7月1日至9月30日</u>
營業成本	\$ 1,382	\$ 1,198
營業費用	<u>2</u>	<u>3</u>
	1,384	1,201
專案合作收入減項	(1,026)	(1,026)
	<u>\$ 358</u>	<u>\$ 175</u>
	<u>108年1月1日至9月30日</u>	<u>107年1月1日至9月30日</u>
營業成本	\$ 4,000	\$ 3,523
營業費用	<u>10</u>	<u>9</u>
	4,010	3,532
專案合作收入減項	(3,076)	(3,076)
	<u>\$ 934</u>	<u>\$ 456</u>

2. 專案合作收入屬於電腦軟體之購置款項，依該軟體之估計耐用年限平均認列減少攤銷費用，請參閱附註六、(十)長期遞延收入之說明。

(八) 其他應付款

	<u>108年9月30日</u>	<u>107年12月31日</u>	<u>107年9月30日</u>
應付薪資	\$ 39,028	\$ 43,382	\$ 34,899
應付費用	32,133	47,075	41,862
應付員工及董監酬勞	22,705	21,886	11,695
應付工程保留款	2,743	2,743	2,743
應付設備款	2,042	2,944	2,596
應付營業稅	<u>171</u>	<u>485</u>	<u>319</u>
	<u>\$ 98,822</u>	<u>\$ 118,515</u>	<u>\$ 94,114</u>

(九) 長期借款

借款性質	借款期間	償還方式	108年9月30日	107年12月31日	107年9月30日
擔保借款	95.06~110.06	自撥款日起，依年金法按月攤還本息。	\$ -	\$ 2,176	\$ 2,389
擔保借款	97.05~112.05	自撥款日起，依年金法按月攤還本息。	-	11,511	12,140
擔保借款	103.11~108.11	自103.12.12起，本金按月平均攤還，利息按月計付。	-	2,097	2,669
擔保借款	106.05~111.05	自106.6.26起，本金按月平均攤還，利息按月計付。	-	5,467	5,867
擔保借款	107.08~110.05	自107.11.30起，每3個月為1期，每期以未還金額乘1.67%攤還本金。	-	92,480	94,077
			-	113,731	117,142
減：一年內到期之借款			-	(13,122)	(13,495)
			\$ -	\$ 100,609	\$ 103,647
		利率區間	-	0.95%~1.51%	0.95%~1.51%

1. 上述長期借款之擔保，請詳附註八之說明。
2. 本集團銀行借款認列於損益之利息費用，請參閱附註六、(十八)之說明。

(十) 長期遞延收入

本集團取得專案合作收入認列為長期遞延收入，本期變動情形如下：

	108年1月1日至9月30日	107年1月1日至9月30日
1月1日	\$ 62,060	\$ 75,265
本期新增	43,470	14,200
本期攤提	(20,775)	(27,062)
9月30日	\$ 84,755	\$ 62,403

遞延收入攤提明細如下：

	108年7月1日至9月30日	107年7月1日至9月30日
折舊費用減項	\$ 3,731	\$ 3,563
無形資產攤銷費用減項	1,026	1,026
研究發展費用減項	2,135	2,273
其他費用減項	774	1,180
	\$ 7,666	\$ 8,042

	108年1月1日至9月30日	107年1月1日至9月30日
折舊費用減項	\$ 10,340	\$ 10,692
無形資產攤銷費用減項	3,076	3,076
研究發展費用減項	6,519	8,450
其他費用減項	840	4,844
	<u>\$ 20,775</u>	<u>\$ 27,062</u>

1. 若專案合作收入之性質係補償本集團發生之費用，則在相關費用發生期間依有系統之基礎將其認列為當期損益，於報導相關費用時將其減除。與不動產、廠房及設備與無形資產有關之專案合作收入，於資產耐用年限內透過折舊費用及攤銷費用之減少將專案合作收入認列於損益。
2. 專案合作收入民國108年及107年1月1日至9月30日新增屬購置機器設備及無形資產之金額分別為\$31,831及\$0。
3. 本集團截至民國108年9月30日、107年12月31日及107年9月30日應收專案合作收入分別為\$34,882、\$4,380及\$14,913(表列「應收票據」及「其他應收款」項下)。

(十一) 股份基礎給付

1. 民國108年度，本集團之股份基礎給付協議如下：

協議之類型	給與日	給與數量	合約期間	既得條件
現金增資保留員工認購	108.8.27	645仟股	NA	立即既得

2. 本集團給與日給與之股份基礎給付交易使用 Black-Scholes 選擇權評價模式估計認股選擇權之公允價值，相關資訊如下：

協議之類型	給與日	股價	履約價格 (註2)	預期波動率 (註1)	預期存 續期間	預期 股利	無風險 利率	每單位 公允價值
現金增資保留員工認購	108.8.27	113.35元	140元	37.85%	0.041年	-	0.49%	4.1元

註1：預期波動率係採用最近期與該認股權預期存續期間約當之期間作為樣本區間之股價，並以該期間內股票報酬率之標準差估計而得。

註2：係認購價格。

3. 股份基礎給付交易產生之費用如下：

	108年1月1日至9月30日
權益交割	
一現金增資保留員工認股	<u>\$ 1,443</u>

(十二)股本

1. 民國 108 年 9 月 30 日，本公司額定資本額為 \$600,000，分為 60,000 仟股，實收資本額為 \$358,000，每股面額新台幣 10 元。
2. 本公司普通股期初與期末流通在外股數調節如下：

單位：仟股

	108年1月1日至9月30日	107年1月1日至9月30日
1月1日	30,000	26,000
現金增資	4,300	-
股票股利	1,500	-
資本公積轉增資	-	4,000
9月30日	35,800	30,000

3. 本公司於民國 106 年 12 月 18 日經股東臨時會決議辦理資本公積轉增資 \$40,000，增資基準日為民國 107 年 1 月 1 日。該項增資案業於民國 107 年 2 月 1 日辦理變更登記完竣。
4. 本公司於民國 108 年 6 月 27 日經股東會決議辦理盈餘轉增資 \$15,000，增資基準日為民國 108 年 7 月 26 日，該項增資案業於民國 108 年 8 月 5 日辦理變更登記完竣。
5. 本公司於民國 108 年 6 月 27 日經董事會決議通過辦理初次上市前現金增資 \$43,000，每股面額新台幣 10 元，業經臺灣證券交易所股份有限公司 108 年 7 月 15 日臺證上一字第 1081803366 號函申報生效在案。現金增資基準日為民國 108 年 9 月 6 日，該項增資案業於民國 108 年 9 月 19 日辦理變更登記完竣。另，本公司因發行新股之相關支出 \$3,000，表列資本公積減項。

(十三)資本公積

1. 依公司法規定，超過票面金額發行股票所得之溢額及受領贈與之所得之資本公積，除得用於彌補虧損外，於公司無累積虧損時，按股東原有股份之比例發給新股或現金。公司非於盈餘公積填補資本虧損仍有不足時，不得以資本公積補充之。
2. 本公司於民國 106 年 12 月 18 日經股東臨時會決議以資本公積配發每股股票新台幣 1.54 元，共計 \$40,000。
3. 本公司於民國 108 年 6 月 27 日經股東會決議以資本公積配發每股現金新台幣 0.27 元，共計 \$8,000。

(十四)保留盈餘

1. 依本公司章程規定，年度總決算如有盈餘，應先提繳稅款，彌補以往虧損，次提百分之十為法定盈餘公積，但法定盈餘公積已達資本總額時，不在此限。另依法令規定提列或迴轉特別盈餘公積後，併同期初未分配盈餘為累積可分配盈餘，由董事會擬具分配議案，提請股東會決議後分派之。
本公司股利政策，係配合目前及未來之發展計劃、考量投資環境、資金需求及國內外競爭狀況，並兼顧股東利益等因素，每年分配股東股利不低於當年度新增可分配盈餘之百分之十，分配股東股利時，得以現金或股票方式為之，其中現金股利不低於分派股利總額之百分之十。

2. 法定盈餘公積除彌補公司虧損及按股東原有股份之比例發給新股或現金外，不得使用之，惟發給新股或現金者，以該項公積超過實收資本額25%之部分為限。
3. 民國108年度認列為分配與業主之現金股利及股票股利分別為\$97,000(每股新台幣\$3.23元)及\$15,000(每股新台幣\$0.5元)，共計為\$112,000元。民國107年度認列為分配與業主之現金股利為\$15,000(每股新台幣\$0.5元)。

(十五)營業收入

1. 本集團之收入源於提供隨時間逐步移轉及於某一時點移轉之商品及勞務，收入可細分為下列客戶合約：

<u>108年7月1日至9月30日</u>	<u>商品銷售合約</u>	<u>商品加工合約</u>	<u>其他勞務合約</u>	<u>合計</u>
部門收入(外部客戶合約收入)	\$ 166,134	\$ 45,722	\$ 514	\$ 212,370
收入認列時點				
於某一時點認列之收入	\$ 166,134	\$ -	\$ -	\$ 166,134
隨時間逐步認列之收入	-	45,722	514	46,236
	<u>\$ 166,134</u>	<u>\$ 45,722</u>	<u>\$ 514</u>	<u>\$ 212,370</u>
<u>107年7月1日至9月30日</u>	<u>商品銷售合約</u>	<u>商品加工合約</u>	<u>其他勞務合約</u>	<u>合計</u>
部門收入(外部客戶合約收入)	\$ 180,410	\$ 63,056	\$ 312	\$ 243,778
收入認列時點				
於某一時點認列之收入	\$ 180,410	\$ -	\$ -	\$ 180,410
隨時間逐步認列之收入	-	63,056	312	63,368
	<u>\$ 180,410</u>	<u>\$ 63,056</u>	<u>\$ 312</u>	<u>\$ 243,778</u>
<u>108年1月1日至9月30日</u>	<u>商品銷售合約</u>	<u>商品加工合約</u>	<u>其他勞務合約</u>	<u>合計</u>
部門收入(外部客戶合約收入)	\$ 493,395	\$ 142,324	\$ 1,552	\$ 637,271
收入認列時點				
於某一時點認列之收入	\$ 493,395	\$ -	\$ -	\$ 493,395
隨時間逐步認列之收入	-	142,324	1,552	143,876
	<u>\$ 493,395</u>	<u>\$ 142,324</u>	<u>\$ 1,552</u>	<u>\$ 637,271</u>
<u>107年1月1日至9月30日</u>	<u>商品銷售合約</u>	<u>商品加工合約</u>	<u>其他勞務合約</u>	<u>合計</u>
部門收入(外部客戶合約收入)	\$ 449,604	\$ 145,815	\$ 6,912	\$ 602,331
收入認列時點				
於某一時點認列之收入	\$ 449,604	\$ -	\$ -	\$ 449,604
隨時間逐步認列之收入	-	145,815	6,912	152,727
	<u>\$ 449,604</u>	<u>\$ 145,815</u>	<u>\$ 6,912</u>	<u>\$ 602,331</u>

2. 合約資產

本集團認列客戶合約收入相關之合約資產如下：

	<u>108年9月30日</u>	<u>107年12月31日</u>	<u>107年9月30日</u>	<u>107年1月1日</u>
合約資產-				
商品加工合約	\$ 22,236	\$ 33,069	\$ 26,537	\$ 15,631

3. 期初合約負債本期認列收入數

	<u>108年7月1日至9月30日</u>	<u>107年7月1日至9月30日</u>
其他勞務合約	\$ -	\$ -
	<u>108年1月1日至9月30日</u>	<u>107年1月1日至9月30日</u>
其他勞務合約	\$ -	\$ 1,500
<u>(十六)其他收入</u>		
	<u>108年7月1日至9月30日</u>	<u>107年7月1日至9月30日</u>
利息收入：		
銀行存款利息	\$ 2,220	\$ 1,428
其他	139	164
	<u>\$ 2,359</u>	<u>\$ 1,592</u>
	<u>108年1月1日至9月30日</u>	<u>107年1月1日至9月30日</u>
利息收入：		
銀行存款利息	\$ 7,195	\$ 4,509
其他	843	482
	<u>\$ 8,038</u>	<u>\$ 4,991</u>
<u>(十七)其他利益及損失</u>		
	<u>108年7月1日至9月30日</u>	<u>107年7月1日至9月30日</u>
淨外幣兌換(損失)利益	(\$ 1,365)	\$ 659
其他損失	(368)	(1,272)
	<u>(\$ 1,733)</u>	<u>(\$ 613)</u>
	<u>108年1月1日至9月30日</u>	<u>107年1月1日至9月30日</u>
淨外幣兌換利益	\$ 3,746	\$ 13,639
其他損失	(707)	(1,652)
	<u>\$ 3,039</u>	<u>\$ 11,987</u>
<u>(十八)財務成本</u>		
	<u>108年7月1日至9月30日</u>	<u>107年7月1日至9月30日</u>
銀行借款利息	\$ 119	\$ 386
租賃負債	393	-
	<u>\$ 512</u>	<u>\$ 386</u>
	<u>108年1月1日至9月30日</u>	<u>107年1月1日至9月30日</u>
銀行借款利息	\$ 657	\$ 1,099
租賃負債	1,174	-
	<u>\$ 1,831</u>	<u>\$ 1,099</u>

(十九)費用性質之額外資訊

	108年7月1日至9月30日		
	屬於營業成本	屬於營業費用	合計
員工福利費用	\$ 35,094	\$ 17,065	\$ 52,159
不動產、廠房及設備折舊費用	12,232	1,424	13,656
使用權資產折舊費用	969	440	1,409
無形資產攤銷費用	1,382	2	1,384
	<u>\$ 49,677</u>	<u>\$ 18,931</u>	<u>\$ 68,608</u>
	107年7月1日至9月30日		
	屬於營業成本	屬於營業費用	合計
員工福利費用	\$ 32,750	\$ 19,399	\$ 52,149
不動產、廠房及設備折舊費用	12,447	733	13,180
無形資產攤銷費用	1,198	3	1,201
	<u>\$ 46,395</u>	<u>\$ 20,135</u>	<u>\$ 66,530</u>
	108年1月1日至9月30日		
	屬於營業成本	屬於營業費用	合計
員工福利費用	\$ 111,334	\$ 54,104	\$ 165,438
不動產、廠房及設備折舊費用	36,114	4,133	40,247
使用權資產折舊費用	2,879	1,411	4,290
無形資產攤銷費用	4,000	10	4,010
	<u>\$ 154,327</u>	<u>\$ 59,658</u>	<u>\$ 213,985</u>
	107年1月1日至9月30日		
	屬於營業成本	屬於營業費用	合計
員工福利費用	\$ 85,618	\$ 46,897	\$ 132,515
不動產、廠房及設備折舊費用	35,938	3,426	39,364
無形資產攤銷費用	3,523	9	3,532
	<u>\$ 125,079</u>	<u>\$ 50,332</u>	<u>\$ 175,411</u>

不動產、廠房及設備折舊費用及無形資產攤銷，請參閱附註六、(五)(七)(十)之說明。

(二十)員工福利費用

	108年7月1日至9月30日	107年7月1日至9月30日
薪資費用	\$ 43,480	\$ 43,948
勞健保費用	3,886	2,938
退休金費用	1,964	1,501
其他用人費用	2,829	3,762
	<u>\$ 52,159</u>	<u>\$ 52,149</u>
	108年1月1日至9月30日	107年1月1日至9月30日
薪資費用	\$ 139,074	\$ 113,463
勞健保費用	11,271	7,948
退休金費用	5,689	4,102
其他用人費用	9,404	7,002
	<u>\$ 165,438</u>	<u>\$ 132,515</u>

1. 依本公司章程規定，本公司應以當年度獲利狀況提撥百分之一至百分之十為員工酬勞及不高於百分之三分派董事酬勞，但公司尚有虧損時，應先予彌補。

2. 本公司民國 108 年及 107 年 7 月 1 日至 9 月 30 日暨 108 年及 107 年 1 月 1 日至 9 月 30 日員工酬勞估列金額分別為\$1,106、\$2,287、\$7,895 及 \$5,705；董監酬勞估列金額分別為\$2,262、\$3,900、\$7,352 及 \$4,320，前述金額帳列薪資費用科目。

民國 108 年 1 月 1 日至 9 月 30 日係依該截至當期止之獲利情況，分別以章程所定成數估列。

經董事會決議之民國 107 年度員工酬勞及董監酬勞分別為\$11,000 及 \$9,000，與民國 107 年度財務報告認列之金額一致。其中員工酬勞將採現金之方式發放。民國 107 年度員工酬勞尚未配發完畢。

本公司董事會通過之員工及董監酬勞相關資訊可至公開資訊觀測站查詢。

3. 自民國 94 年 7 月 1 日起，本集團依據「勞工退休金條例」訂有確定提撥之退休辦法，適用於本國籍之員工。本集團每月按薪資之 6%提繳勞工退休金至勞保局員工個人帳戶，員工退休金之支付依員工個人之退休金專戶及累積收益之金額採月退休或一次退休方式領取。民國 108 年及 107 年 7 月 1 日至 9 月 30 日暨 108 年及 107 年 1 月 1 日至 9 月 30 日，本集團依上述退休金辦法認列之退休金成本分別為\$1,907、\$1,432、\$5,511 及 \$3,937。

4. 本公司就董事每月按其薪資總額 4%提撥職工退休準備金。民國 108 年及 107 年 7 月 1 日至 9 月 30 日暨 108 年及 107 年 1 月 1 日至 9 月 30 日，

本公司依該退休金辦法認列之退休金成本分別為\$57、\$69、\$178及\$165。截至民國108年9月30日、107年12月31日及107年9月30日止，其應付退休金分別為\$1,465、\$1,287及\$1,218(表列「淨確定福利負債－非流動」)。

(二十一)所得稅

1. 所得稅費用組成部分：

	<u>108年7月1日至9月30日</u>	<u>107年7月1日至9月30日</u>
當期所得稅：		
當期所得產生之所得稅	\$ 15,721	\$ 19,067
未分配盈餘加徵	-	-
以前年度所得稅低(高)估	-	-
當期所得稅總額	<u>15,721</u>	<u>19,067</u>
遞延所得稅：		
暫時性差異之原始產生及迴轉	(327)	(1,157)
稅率改變之影響	-	-
遞延所得稅總額	<u>(327)</u>	<u>(1,157)</u>
所得稅費用	<u>\$ 15,394</u>	<u>\$ 17,910</u>
	<u>108年1月1日至9月30日</u>	<u>107年1月1日至9月30日</u>
當期所得稅：		
當期所得產生之所得稅	\$ 48,472	\$ 46,241
未分配盈餘加徵	5,209	12,000
以前年度所得稅低(高)估	183	(272)
當期所得稅總額	<u>53,864</u>	<u>57,969</u>
遞延所得稅：		
暫時性差異之原始產生及迴轉	(466)	1,531
稅率改變之影響	-	(650)
遞延所得稅總額	<u>(466)</u>	<u>881</u>
所得稅費用	<u>\$ 53,398</u>	<u>\$ 58,850</u>

- 本公司營利事業所得稅業經稅捐稽徵機關核定至民國106年度，且截至報告日止，未有行政救濟之情事。
- 所得稅法修正案於民國107年2月7日公布生效，營利事業所得稅之稅率自17%調增至20%，此修正自民國107年度開始適用。本集團業已就此稅率變動評估相關之所得稅影響。

(二十二) 每股盈餘

普通股每股盈餘

108年7月1日至9月30日		
稅後金額	加權平均流通 在外股數(仟股)	每股盈餘 (元)
<u>基本每股盈餘</u>		
歸屬於母公司普通股股東之 本期淨利	\$ 60,314	32,668
<u>稀釋每股盈餘</u>		
員工酬勞		7
屬於母公司普通股股東之 本期淨利加潛在普通股之 影響	\$ 60,314	32,675
107年7月1日至9月30日		
稅後金額	加權平均流通 在外股數(仟股)	每股盈餘 (元)
<u>基本每股盈餘</u>		
歸屬於母公司普通股股東之 本期淨利	\$ 65,986	31,500
<u>稀釋每股盈餘</u>		
員工酬勞		58
屬於母公司普通股股東之 本期淨利加潛在普通股之 影響	\$ 65,986	31,558
108年1月1日至9月30日		
稅後金額	加權平均流通 在外股數(仟股)	每股盈餘 (元)
<u>基本每股盈餘</u>		
歸屬於母公司普通股股東之 本期淨利	\$ 186,514	31,894
<u>稀釋每股盈餘</u>		
員工酬勞		134
屬於母公司普通股股東之 本期淨利加潛在普通股之 影響	\$ 186,514	32,028

	107年1月1日至9月30日		
	稅後金額	加權平均流通 在外股數(仟股)	每股盈餘 (元)
基本每股盈餘			
歸屬於母公司普通股股東之 本期淨利	\$ 171,532	31,500	\$ 5.45
稀釋每股盈餘			
員工酬勞		159	
屬於母公司普通股股東之 本期淨利加潛在普通股之 影響	\$ 171,532	31,659	\$ 5.42

加權平均流通在外股數已依民國 108 年度決議之盈餘轉增資比例追溯調整之。

(二十三)營業租賃

民國 107 年度適用

1. 本集團向台灣糖業股份有限公司租賃土地之相關權利金及租金支付情形，請參閱附註六、(六)租賃交易—承租人之說明。

(1) 本集團將支付之權利金(表列「長期預付租金」)按合約期間分期攤銷為費用，於民國 107 年 7 月 1 日至 9 月 30 日及 107 年 1 月 1 日至 9 月 30 日認列之租金費用分別為 \$444 及 \$1,236。截至民國 107 年 12 月 31 日及 107 年 9 月 30 日止，未攤銷之權利金餘額分別為 \$14,523 及 \$14,967。

(2) 未來最低租賃給付總額如下：

	107年12月31日	107年9月30日
不超過1年	\$ 6,318	\$ 2,234
超過1年但不超過5年	9,884	10,942
超過5年	30,501	37,990
	<u>\$ 46,703</u>	<u>\$ 51,166</u>

2. 本集團以營業租賃承租汽車，未來最低租賃給付總額如下：

	107年12月31日	107年9月30日
不超過1年	\$ 1,981	\$ 2,072
超過1年但不超過5年	1,950	2,377
	<u>\$ 3,931</u>	<u>\$ 4,449</u>

(二十四) 現金流量補充資訊

1. 僅有部分現金收支之投資活動：

	108年1月1日至9月30日	107年1月1日至9月30日
購置不動產、廠房及設備	\$ 40,639	\$ 17,655
加：期初應付工程保留款及設備款	5,687	4,085
減：期末應付工程保留款及設備款	(4,785)	(5,339)
本期支付現金	<u>\$ 41,541</u>	<u>\$ 16,401</u>
	108年1月1日至9月30日	107年1月1日至9月30日
長期遞延收入-購置設備及無形資產增加(註)	\$ 31,831	\$ -
加：期初應收專案合作收入	-	35,121
減：期末應收專案合作收入	(31,831)	(12,448)
本期收取現金	<u>\$ -</u>	<u>\$ 22,673</u>

註：請參閱附註六、(十)之說明。

2. 不影響現金流量之投資活動：

	108年1月1日至9月30日	107年1月1日至9月30日
預付設備款轉列不動產、廠房及設備	<u>\$ 5,968</u>	<u>\$ 13,604</u>
預付設備款轉列無形資產	<u>\$ 501</u>	<u>\$ 1,231</u>

(二十五) 來自籌資活動之負債之變動

	108年1月1日至9月30日		
	長期借款	租賃負債	來自籌資活動之負債總額
1月1日	\$ 113,731	\$ 119,120	\$ 232,851
籌資現金流量之變動	(113,731)	(1,743)	(115,474)
其他非現金之變動	-	1,940	1,940
9月30日	<u>\$ -</u>	<u>\$ 119,317</u>	<u>\$ 119,317</u>
	107年1月1日至9月30日		
	長期借款	來自籌資活動之負債總額	
1月1日	\$ 127,751	\$	127,751
籌資現金流量之變動	(10,609)	(10,609)
9月30日	<u>\$ 117,142</u>	<u>\$</u>	<u>117,142</u>

七、關係人交易

(一) 與關係人間之重大交易事項

無此情事。

(二) 主要管理階層薪酬資訊

	<u>108年7月1日至9月30日</u>	<u>107年7月1日至9月30日</u>
短期員工福利	\$ 4,163	\$ 1,636
退職後福利	57	69
	<u>\$ 4,220</u>	<u>\$ 1,705</u>

	<u>108年1月1日至9月30日</u>	<u>107年1月1日至9月30日</u>
短期員工福利	\$ 13,057	\$ 5,955
退職後福利	178	165
	<u>\$ 13,235</u>	<u>\$ 6,120</u>

八、質押之資產

本集團之資產提供擔保明細如下：

<u>資產項目</u>	<u>帳面價值</u>			<u>擔保用途</u>
	<u>108年9月30日</u>	<u>107年12月31日</u>	<u>107年9月30日</u>	
定期存款(註)	\$ 21,232	\$ 21,072	\$ 20,977	履約保證金
房屋及建築	-	183,489	185,894	長期借款
機器設備	-	53,445	55,905	長期借款
	<u>\$ 21,232</u>	<u>\$ 258,006</u>	<u>\$ 262,776</u>	

註：本集團提供擔保之定期存款表列「按攤銷後成本衡量之金融資產－非流動」。

九、重大或有負債及未認列之合約承諾

(一) 或有事項

無此情事。

(二) 承諾事項

1. 本集團由銀行開立保證函金額如下：

	<u>108年9月30日</u>	<u>107年12月31日</u>	<u>107年9月30日</u>
履約保證函	\$ 11,796	\$ 11,796	\$ 5,898

2. 本集團開立存出保證票據作為履約保證金額如下：

	<u>108年9月30日</u>	<u>107年12月31日</u>	<u>107年9月30日</u>
存出保證票據	\$ 45,860	\$ 50,860	\$ 50,860

3. 已簽約但尚未發生之資本支出：

	<u>108年9月30日</u>	<u>107年12月31日</u>	<u>107年9月30日</u>
不動產、廠房及設備	\$ 850	\$ 6,648	\$ 2,418

4. 營業租賃協議，請參閱附註六、(二十三)。

十、重大之災害損失

無此情事。

十一、重大之期後事項

無此情事。

十二、其他

(一)資本管理

本集團之資本管理目標，係為保障集團能繼續經營，維持最佳資本結構以降低資金成本，並為股東提供報酬。為了維持或調整資本結構，本集團可能會調整支付予股東之股利金額、退還資本予股東、發行新股或出售資產以降低債務。與產業慣例一致，本集團以負債佔資產比例控管資本。

本集團之策略係維持一個平穩之負債佔資產比，比率如下：

	<u>108年9月30日</u>	<u>107年12月31日</u>	<u>107年9月30日</u>
總負債	\$ 335,801	\$ 379,532	\$ 328,408
總資產	\$ 2,291,368	\$ 1,623,773	\$ 1,503,990
負債佔資產比	15%	23%	22%

(二)金融工具

1. 金融工具公允價值資訊

本集團非以公允價值衡量之金融工具(包括現金及約當現金、按攤銷後成本衡量之金融資產、應收票據、應收帳款、其他應收款、存出保證金、應付帳款、其他應付款(不含應付稅款)、租賃負債、存入保證金及長期借款)等的帳面金額係公允價值之合理近似值，另本集團無以公允價值衡量之金融工具。

2. 金融工具之種類

	<u>108年9月30日</u>	<u>107年12月31日</u>	<u>107年9月30日</u>
<u>金融資產</u>			
按攤銷後成本衡量之金融資產			
現金及約當現金	\$ 714,983	\$ 385,274	\$ 423,267
按攤銷後成本衡量之金融資產	333,577	208,147	88,501
應收票據	35,707	8	6
應收帳款	278,481	243,675	233,495
其他應收款	4,037	10,265	21,140
存出保證金	3,479	3,889	3,864
	<u>\$ 1,370,264</u>	<u>\$ 851,258</u>	<u>\$ 770,273</u>

	<u>108年9月30日</u>	<u>107年12月31日</u>	<u>107年9月30日</u>
<u>金融負債</u>			
按攤銷後成本衡量之金融負債			
應付帳款	\$ 9,460	\$ 22,587	\$ 11,464
其他應付款	98,651	118,030	93,795
存入保證金	600	600	600
長期借款(含一年內到期)	-	113,731	117,142
	<u>\$ 108,711</u>	<u>\$ 254,948</u>	<u>\$ 223,001</u>
租賃負債	<u>\$ 119,317</u>	<u>\$ -</u>	<u>\$ -</u>

3. 風險管理政策

本集團日常營運受多項財務風險之影響，包含市場風險(包括匯率風險及利率風險)、信用風險及流動性風險。本集團整體風險管理政策著重於金融市場的不可預測事項，並尋求可降低對本集團財務狀況及財務績效之潛在不利影響。

4. 重大財務風險之性質及程度

(1) 市場風險

匯率風險

- A. 本集團管理階層已訂定政策，管理相對其功能性貨幣之匯率風險。本集團透過財務部就其整體匯率風險進行避險。當未來商業交易、已認列資產或負債係以非該個體之功能性貨幣計價時，匯率風險便會產生。
- B. 本集團從事之業務涉及若干非功能性貨幣，故受匯率波動影響，具重大匯率波動影響之外幣資產資訊如下。無重大之外幣負債。

<u>金融資產</u>		<u>108年9月30日</u>		
<u>貨幣性項目</u>	<u>外幣(仟元)</u>	<u>匯率</u>	<u>帳面金額(新台幣)</u>	
美金：新台幣	\$ 17,160	30.97	\$	531,445
<u>金融資產</u>		<u>107年12月31日</u>		
<u>貨幣性項目</u>	<u>外幣(仟元)</u>	<u>匯率</u>	<u>帳面金額(新台幣)</u>	
美金：新台幣	\$ 14,463	30.67	\$	443,580
日圓：新台幣	80,321	0.2764		22,201
<u>金融資產</u>		<u>107年9月30日</u>		
<u>貨幣性項目</u>	<u>外幣(仟元)</u>	<u>匯率</u>	<u>帳面金額(新台幣)</u>	
美金：新台幣	\$ 15,364	30.48	\$	468,295

- C. 本集團貨幣性項目因匯率波動具重大影響於民國108年及107年7月1日至9月30日暨108年及107年1月1日至9月30日認列之全部兌換(損失)利益(含已實現及未實現)金額分別為(\$1,365)、\$659、\$3,746及\$13,639。

- D. 若新台幣對外幣升值/貶值 1%，而其他所有因素維持不變之情況下，對民國 108 年及 107 年 1 月 1 日至 9 月 30 日稅前淨利影響分別為 \$5,314 及 \$4,683。

價格風險

本集團未有重大商品價格風險之暴險。

利率風險

本集團之利率風險來自長期借款。按浮動利率發行之借款使本集團承受現金流量利率風險，部分風險被按浮動利率持有之現金及約當現金抵銷，故利率風險對本集團無重大影響。

(2) 信用風險

- A. 本集團之信用風險係因客戶或金融工具之交易對手無法履行合約義務而導致本集團財務損失之風險，主要來自交易對手無法清償按收款條件支付之應收帳款及分類為按攤銷後成本衡量之債務工具投資的合約現金流量。
- B. 本集團係以集團角度建立信用風險之管理，只與信用良好之銀行及金融機構交易。依內部明定之授信政策，集團內各營運個體與每一新客戶於訂定付款及提出交貨之條款與條件前，須對其進行管理及信用風險分析。內部風險控管係透過考慮其財務狀況、過往經驗及其他因素，以評估客戶之信用品質。
- C. 本集團採用 IFRS 9 提供以下之前提假設，作為判斷自原始認列後金融工具之信用風險是否有顯著增加之依據：
當合約款項按約定之支付條款逾期超過 30 天，視為金融資產自原始認列後信用風險已顯著增加。
- D. 本集團依信用風險之管理，按以往催收經驗，當合約款項按約定之支付條款逾期 365 天以上視為已發生違約。
- E. 本集團按授信條件對客戶之應收帳款分組，採用簡化作法以準備矩陣為基礎估計預期信用損失。
- F. 本集團用以判定債務工具投資為信用減損之指標如下：
(A) 發行人發生重大財務困難，或將進入破產或其他財務重整之可能性大增；
(B) 發行人由於財務困難而使該金融資產之活絡市場消失；
(C) 發行人延滯或不償付利息或本金；
(D) 導致發行人違約有關之全國性或區域性經濟情況不利之變化。
- G. 本集團經追索程序後，對無法合理預期可回收金融資產之金額予以沖銷，惟本集團仍會持續進行追索之法律程序以保全債權之權利。本集團民國 108 年第三季、107 年度及 107 年度第三季無沖銷債權之情形。

H. 本集團之準備矩陣係以應收帳款之歷史信用損失經驗及貨幣時間價值，並就前瞻性估計予以調整，前瞻性估計係考量未來一年之經濟狀況。本集團依上述估計之準備矩陣如下：

108及107年1月 1日至9月30日	未逾期	逾期1 -90天	逾期91 -180天	逾期181 -270天	逾期271 -365天	逾期 365天
預期損失率	0.1%	1%	10%	25%	50%	100%

I. 本集團採簡化作法之應收帳款備抵損失變動表如下：

	108年1月1日至9月30日	107年1月1日至9月30日
期初餘額	\$ 1,249	\$ 1,020
減損損失提列	406	2,520
期末餘額	\$ 1,655	\$ 3,540

(3) 流動性風險

A. 本集團藉由現金及約當現金及銀行借款等合約以維持財務彈性。下表係本集團之非衍生金融負債，非衍生金融負債係依據資產負債表日至合約到期日之剩餘期間進行分析。下表所揭露之合約現金流量金額係未折現之金額。

非衍生金融負債

108年9月30日	短於一年	介於一至二年	介於二至五年	5年以上
應付帳款	\$ 9,460	\$ -	\$ -	\$ -
其他應付款	98,651	-	-	-
租賃負債	8,330	2,963	7,533	128,607
	<u>\$116,441</u>	<u>\$ 2,963</u>	<u>\$ 7,533</u>	<u>\$128,607</u>

非衍生金融負債

107年12月31日	短於一年	介於一至二年	介於二至五年	5年以上
應付帳款	\$ 22,587	\$ -	\$ -	\$ -
其他應付款	118,030	-	-	-
長期借款	14,538	11,941	90,327	-
	<u>\$155,155</u>	<u>\$ 11,941</u>	<u>\$ 90,327</u>	<u>\$ -</u>

非衍生金融負債

107年9月30日	短於一年	介於一至二年	介於二至五年	5年以上
應付帳款	\$ 11,464	\$ -	\$ -	\$ -
其他應付款	93,795	-	-	-
長期借款	14,866	12,443	93,551	-
	<u>\$120,125</u>	<u>\$ 12,443</u>	<u>\$ 93,551</u>	<u>\$ -</u>

衍生金融負債：無。

B. 本集團並不預期到期日分析之現金流量發生時點會顯著提早，或實際金額會有顯著不同。

十三、附註揭露事項

(一)重大交易事項相關資訊

1. 資金貸與他人：無。
2. 為他人背書保證：無。
3. 期末持有有價證券情形（不包含投資子公司、關聯企業及合資控制部分）：無。
4. 累積買進或賣出同一有價證券之金額達新台幣三億元或實收資本額百分之二十以上：無。
5. 取得不動產之金額達新台幣三億元或實收資本額百分之二十以上：無。
6. 處分不動產之金額達新台幣三億元或實收資本額百分之二十以上：無。
7. 與關係人進、銷貨之金額達新台幣一億元或實收資本額百分之二十以上：附表一。
8. 應收關係人款項達新台幣一億元或實收資本額百分之二十以上：無。
9. 從事衍生工具交易：無。
10. 母公司與子公司及各子公司間之業務關係及重要交易往來情形及金額：附表二。

(二)轉投資事業相關資訊

被投資公司名稱、所在地區等相關資訊（不包含大陸被投資公司）：附表三。

(三)大陸投資資訊

1. 基本資料：無。
2. 直接或間接經由第三地區事業與轉投資大陸之被投資公司所發生之重大交易事項：無。

十四、部門資訊

(一)一般性資訊

本集團主要營業項目係加工及製造並銷售航空器及其零件。本集團係以集團整體評估績效及分配資源，經辨認為單一應報導部門。

(二)部門資訊之衡量

本集團根據稅後淨利評估營運部門的表現，此項衡量標準排除營運部門中非經常性營業外收支之影響。營運部門之會計政策與合併財務報表附註四所述之重要會計政策彙總說明相同。

(三) 部門損益、資產與負債之資訊

提供予主要營運決策者之應報導部門資訊如下：

	<u>108年7月1日至9月30日</u>	<u>107年7月1日至9月30日</u>
外部收入淨額	<u>\$ 212,370</u>	<u>\$ 243,778</u>
部門淨利	<u>\$ 60,314</u>	<u>\$ 65,986</u>
	<u>108年1月1日至9月30日</u>	<u>107年1月1日至9月30日</u>
外部收入淨額	<u>\$ 637,271</u>	<u>\$ 602,331</u>
部門淨利	<u>\$ 186,514</u>	<u>\$ 171,532</u>
	<u>108年9月30日</u>	<u>107年9月30日</u>
部門資產	<u>\$ 2,291,368</u>	<u>\$ 1,503,990</u>
部門負債	<u>\$ 335,801</u>	<u>\$ 328,408</u>

(四) 部門損益、資產與負債之調節資訊

向主要營運決策者呈報之外部收入，與損益表內之收入採用一致之衡量方式，且提供主要營運決策之部門損益、總資產及總負債金額，係與本集團財務報表採一致之衡量方式。

駐龍精密機械股份有限公司

與關係人進、銷貨之金額達新台幣一億元或實收資本額百分之二十以上

民國108年1月1日至9月30日

附表一

單位：新台幣仟元

(除特別註明者外)

進(銷)貨之公司	交易對象名稱	關係	交易情形			交易條件與一般交易不同 之情形及原因				應收(付)票據、帳款		備註
			進(銷)貨	金額	佔總進(銷) 貨之比率	授信期間	單價	授信期間	餘額	佔總應收(付) 票據、帳款之比率		
											加工支出	
駐龍精密機械股份有限公司	駐龍科技股份有限公司	母子公司	加工支出	\$ 90,567	註1	註2	註2	註2	註3	註3	註3	

註1：佔總加工支出之68.74%。

註2：交易價格依雙方約定辦理，付款條件為月結後90天付款，與一般交易並無重大不同。

註3：截至民國108年9月30日止，本公司尚未支付之加工支出為\$37,687，表列「其他應付款項－關係人」。

駐龍精密機械股份有限公司

母公司與子公司及各子公司間之業務關係及重要交易往來情形及金額

民國108年1月1日至9月30日

附表二

單位：新台幣仟元

(除特別註明者外)

編號 (註1)	交易人名稱	交易往來對象	與交易人之關係 (註2)	交易往來情形			佔合併總營收或 總資產之比率 (註3)
				科目	金額	交易條件	
0	駐龍精密機械股份有限公司	駐龍科技股份有限公司	(1)	加工支出	\$ 90,567	註4	14%
0	駐龍精密機械股份有限公司	駐龍科技股份有限公司	(1)	其他應付款	37,687	註4	2%

註1：母公司及子公司相互間之業務往來資訊應分別於編號欄註明，編號之填寫方法如下：

(1) 母公司填0。

(2) 子公司依公司別由阿拉伯數字1開始依序編號。

註2：與交易人之關係有以下三種，標示種類即可(若係母子公司間或各子公司間之同一筆交易，則無須重複揭露。如：母公司對子公司之交易，若母公司已揭露，則子公司部分無須重複揭露；子公司對子公司之交易，若其一子公司已揭露，則另一子公司無須重複揭露)：

(1) 母公司對子公司。

(2) 子公司對母公司。

(3) 子公司對子公司。

註3：交易往來金額佔合併總營收或總資產比率之計算，若屬資產負債項目者，以期末餘額佔合併總資產之方式計算；若屬損益項目者，以期中累積金額佔合併總營收之方式計算。

註4：交易價格依雙方約定辦理，付款條件為月結後90天。

駐龍精密機械股份有限公司

被投資公司名稱、所在地區等相關資訊(不包含大陸被投資公司)

民國108年1月1日至9月30日

附表三

單位：新台幣仟元

(除特別註明者外)

投資公司名稱	被投資公司名稱 (註1、2)	所在地區	主要營業項目	原始投資金額		期末持有			被投資公司 本期損益	本期認列之 投資損益	備註
				本期期末	去年年底	股數	比率	帳面金額			
駐龍精密機械股份有限公司	駐龍科技股份有限公司	台灣	航空器及其零件 表面處理等製造 加工買賣	\$ 60,000	\$ 60,000	6,000,000	100	\$ 87,106	\$ 36,572	\$ 35,789	-

註1：公開發行公司如設有國外控股公司且依當地法令規定以合併財務報告為主要財務報告者，有關國外被投資公司資訊之揭露，得僅揭露至該控股公司之相關資訊。

註2：非屬註1所述情形者，依下列規定填寫：

- (1) 「被投資公司名稱」、「所在地區」、「主要營業項目」、「原始投資金額」及「期末持股情形」等欄，應依本（公開發行）公司轉投資情形及每一直接或間接控制之被投資公司再轉投資情形依序填寫，並於備註欄註明各被投資公司與本（公開發行）公司之關係（如係屬子公司或孫公司）。
- (2) 「被投資公司本期損益」乙欄，應填寫各被投資公司之本期損益金額。
- (3) 「本期認列之投資損益」乙欄，僅須填寫本（公開發行）公司認列直接轉投資之各子公司及採權益法評價之各被投資公司之損益金額，餘得免填。於填寫「認列直接轉投資之各子公司本期損益金額」時，應確認各子公司本期損益金額業已包含其再轉投資依規定應認列之投資損益。